

令和5年度 心くおか高校生知の創造塾(R5.8.16~8.18(2泊3日))

- 九州大学の先生方がファシリテーター(学びの伴走者)となり、高校生が学年や学校の枠を越えて、議論しながら答えのない問題について最適解を探す「**課題解決型学習プログラム**」。今年で**18年目**の事業。
- 今年は**4年ぶりの合宿形式**での実施で、**県内45校**から公募選出された**121名**の意欲ある高校生が参加。
- 令和5年度から新たに**1人1台タブレットパソコン**を活用し、議論や発表をこれまで以上に効果的に実施。

■ メインテーマ

「学びの深化と知の創出—どのように学ぶか?—」

■ サブテーマ

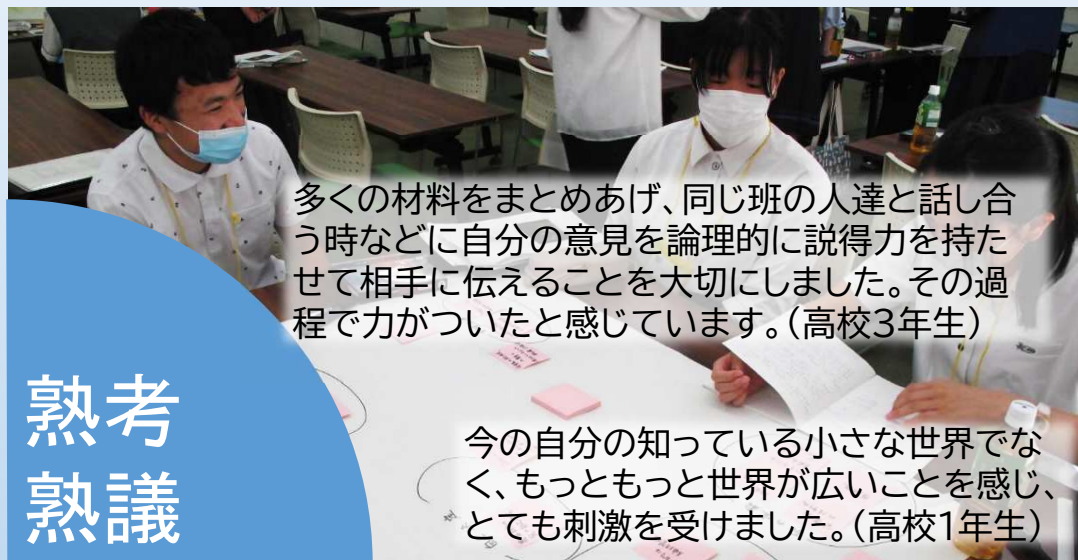
- ・よき有権者をどのように育成すべきか
- ・ポストコロナの働き方を考える
- ・バイオエシックスの視点からとらえる生死
- ・食糧生産と生物多様性について考える
- ・防災・減災の観点からレジリエントな社会づくりについて考える

など全部で計8テーマ

(うち、2テーマは英語で実施)

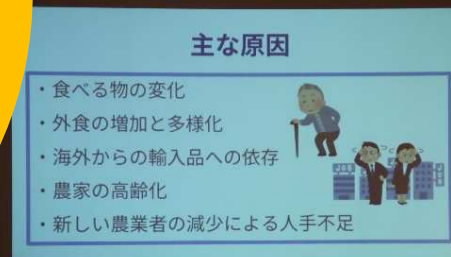
今年の
テーマ

熟考
熟議



ICTで
進化

最終
発表会



- ・リサーチ、意見の共有、プレゼンの準備など、各場面で生徒が自発的に一人一台端末を活用。
- ・九州大学の先生方も、高校生が1人1台タブレットパソコンを使いこなしている様子に驚いていました。

先生のように分かりやすく話す人、イベントの司会のように語りかけながら話す人など、それぞれ発表の仕方が違い、いい意味で今までのプレゼンテーションの固定概念が壊されました。(高校2年生)